

令和2年度事業計画

1 開催準備業務

(1) 会場地市町村の選定

正式競技、特別競技に加え、公開競技、デモンストレーションスポーツの会場地市町村の選定を実施する。

(2) 競技役員等の養成

各競技団体が行う競技役員等の養成するため、競技役員等養成事業（補助事業）を実施する。

(3) 広報・啓発活動

大会のマスコットキャラクターデザイン（みやざき犬）、愛称・スローガンの規定書体を作成し、県民への周知を図る。

(4) 専門委員会の設置・運営

国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会の開催に向けた準備を行うため、新たに「宿泊・衛生専門委員会」、「輸送・交通専門委員会」、「式典専門委員会」を設置する。

(5) 中央競技団体正規視察

大会の開催地として「開催内定」（令和3年度予定）を得るため、中央競技団体による正式競技及び特別競技の競技会場となる施設等の現地視察を受ける。

2 会議の開催

(1) 総会（令和2年8月 ※書面表決による議決）

(2) 常任委員会（令和2年7月6日、令和3年2月頃）

(3) 専門委員会

(4) 市町村・競技団体担当者会議

3 各種調査の実施

(1) 関係機関・団体等との連絡調整・意見交換

大会の開催に向けたそれぞれの準備計画等について、市町村・競技団体・関係団体とのヒアリング及び意見交換を実施する。

(2) 先催県等の準備状況調査

現地調査のほか、各種会議を活用し先催県の取組や状況等を調査する。

○ 国民体育大会委員会（年4回）

○ 国民体育大会開催県検討会議（年2回）

○ 開催地連絡協議会（年1回）